

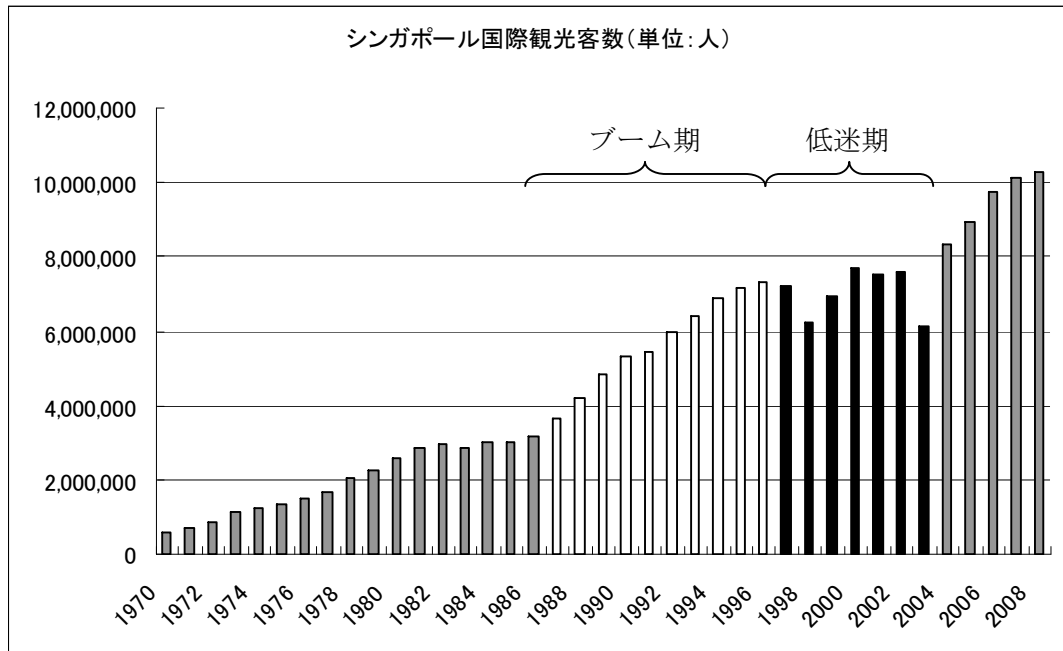
シンガポールに学ぶ観光戦略とカジノ合法化

エンタテインメントビジネス総合研究所

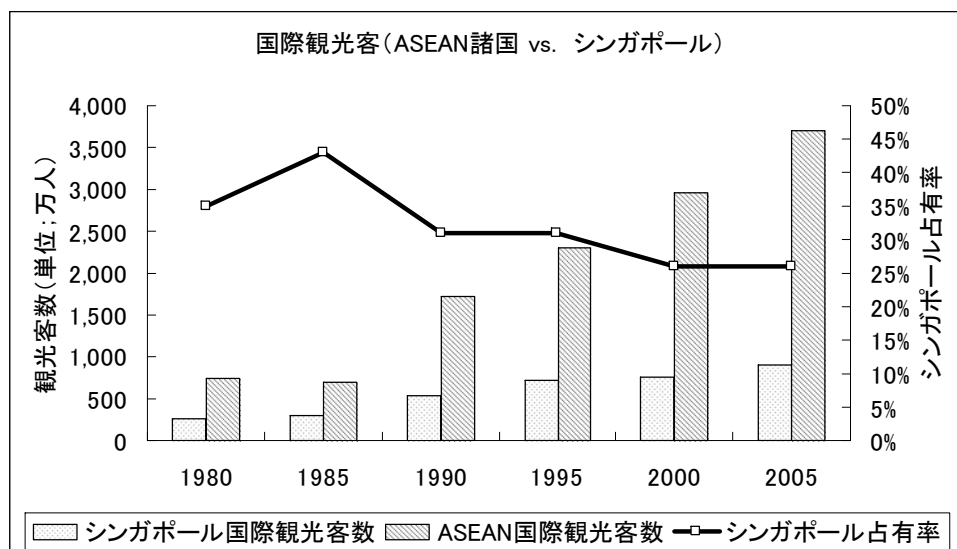
主任研究員 木曾 崇

シンガポールの観光産業

- ・ 1980年代後半からシンガポール観光ブームで急成長
- ・ 1990年代後期以降、低迷期へ突入
- ・ ASEAN 諸国内シェアも最盛期の 45%超から 25%前後にまで低減



出所：Singapore Tourism Board 統計を基に EBI 編さん



出所：Singapore Tourism Board, ASEAN 統計を基に EBI 編さん

## シンガポール：国際ハブ化戦略の失敗

## 【Tourism21】

1996年にシンガポール政府から発表された10ヶ年にわたる国際観光振興計画。95年に714万人であった国際観光客数を2000年に1000万人にすることを目標としていた。シンガポールは海路、空路の国際ハブ化戦略を推し進め、「アジアの玄関口」を強くアピールした。

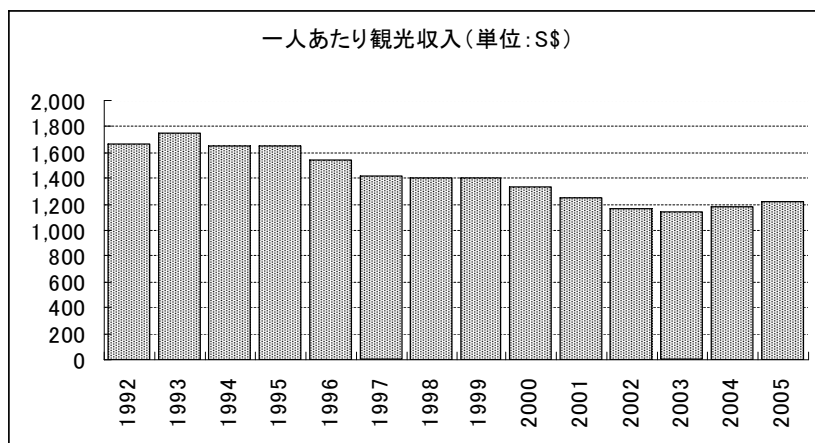
## 【シンガポールの国際観光客数と総観光収入 1992-2005】

	国際観光客数(単位:人)	前年度比	総観光収入(S\$000,000)	前年度比
1992	5,989,837	-	10,003.4	-
1993	6,425,677	7.3%	11,262.0	12.6%
1994	6,898,309	7.4%	11,403.5	1.3%
1995	7,136,538	3.5%	11,830.6	3.7%
1996	7,292,366	2.2%	11,216.4	-5.2%
1997	7,197,871	-1.3%	10,201.9	-9.0%
1998	6,242,152	-13.3%	8,719.8	-14.5%
1999	6,958,201	11.5%	9,754.8	11.9%
2000	7,691,402	10.5%	10,250.9	5.1%
2001	7,522,163	-2.2%	9,431.5	-8.0%
2002	7,567,112	0.6%	8,831.2	-6.4%
2003	6,127,291	-19.0%	6,937.3	-21.4%
2004	8,328,720	35.9%	9,799.6	41.3%
2005	8,943,029	7.4%	10,871.0	10.9%

出所：Singapore Tourism Board 統計を基に EBI 編さん

## 【事後評価】

- ・ 「2000年に1000万人」の数値目標は達成できず。
- ・ 特に問題視されたのが観光客数と観光収入の逆転現象（1996年、2002年）
- ・ 原因は一人あたり消費金額の低下（国際ハブ化戦略の弊害：宿泊日数の低下）
- ・ 客数は増えても消費金額が減ってしまえば、総観光収入は増えない



出所:Singapore Tourism Board 統計を基に EBI 編さん

シンガポール：観光産業の再生

**【Tourism2015】**

2005年から2015年まで10ヶ年の国際観光振興計画。「Tourism21」の教訓を活かし、観光客数を増やすことだけでなく、「いかに消費させるか」を強く押し出した新たな観光戦略を示した。その中の大きな柱の一つが、カジノ合法化を軸とした「カジノツーリズム」の振興であった。

**【Tourism2015 の主な内容】**

1. コンベンション誘致
2. 医療観光、教育観光の振興
3. レジャー観光の推進
  - ・ 総合リゾート開発（シンガポール複合リゾート&カジノ構想）
  - ・ ショッピングセンターの再開発

カジノツーリズムとは

現在、カジノ施設はホテル、ショッピングセンター、劇場、コンベンション施設などを併設した複合リゾート施設として、伝統的なギャンブル顧客のみならず、それ以外の一般的な観光客を取り込むことに成功している。カジノツーリズムとは、複合観光施設として高度に発展したカジノリゾートを中心として、主に民間資本を利用した観光資源開発を行なうことである。刑法で賭博が禁じられている我が国ではこれまであまり論議に挙げられてこなかったが、カジノツーリズムはエコツーリズムやヘルスツーリズムなどと並ぶ「ニューツーリズム（新しい観光資源）」として世界的に注目されている。

**【カジノツーリズムの効用】**

- ・ 新たな観光客層の取り込み：富裕層および中国人観光客
- ・ 既存観光客に向けた新たな観光施設：主に夜半以降の有用な観光施設として
- ・ 観光客の滞在日数に対する押し上げ効果：カジノは「滞在型」観光資源である
- ・ 地域へのリピーターの増加：カジノ施設のリピーター率は90%
- ・ 地域の文化観光資源の強化：多くのカジノは劇場や博物館などの文化施設を併設
- ・ 24時間営業の観光施設：得に国際ハブ化戦略の中核となる「空港の24時間化」にとって、24時間体制で顧客の受け入れを行なう観光施設は有用である。
- ・ 以上のような観光開発を公金ではなく「民間投資」によって調達が可能であること

2005年4月首相演説

2005年4月、カジノ合法化の決定を発表した際に行なわれたリー・シェンロン首相の演説では、これまでのシンガポールの観光政策を振り返り、カジノツーリズムの導入必要性を次のように語った。

・・・何故、シンガポールは国際的な観光競争力を失いつつあるのか?その答えはわが国が「刺激の無い国」であると思われ始めているからだという事が、近年の調査で次第に判明してきました。我々、シンガポールはこれまで観光客の興味を引くような施設への投資を積極的に行ってこなかった。その結果、観光客が楽しんで行える娯楽が余りにも少なくなった。  
(2005.04 首相演説より)

【国際観光客によるシンガポール観光資源に対する評価】

項目	点数 (5点満点)	
	2002	2001
空港施設/サービス	4.7	4.6
公共交通	4.5	4.4
入国審査	4.4	4.4
住民のホスピタリティ精神	4.4	4.2
サービススタッフのレベル	4.3	4.1
食べ物	4.2	4.2
旅行添乗員	4.2	4
観光案内所	4.2	4
ホテル施設/サービス	4.2	4
買物 (商品の質)	4.2	4.1
観光名所	4	4
ナイトライフ	4	3.9
エンターテイメント	4	3.6
買物 (商品の値段)	3.7	3.5

出所：Singapore Tourism Board 統計を基に EBI 編さん

国際観光客へのアンケート調査によれば、シンガポールは買物、観光名所、ナイトライフ、エンターテイメントなど「消費させる」部分に対する評価が恒常的に低いことがわかる。

まとめ：シンガポール観光政策の失敗から我々が学ぶべきこと

1. 観光産業振興のためには「集めること」と同時に「消費させる」ことが必要である。
2. 国際ハブ化戦略は、直ちに観光産業振興に繋がるとは限らない  
単純な「国際ハブ化戦略」は観光産業振興に対して逆効果になる場合もある。
3. カジノツーリズム検討の必要性  
シンガポール政府は「消費させる」ための施策としてカジノツーリズムの導入を決定した。カジノツーリズムの導入は観光振興の有効な施策となりうる。

【著者プロフィール】

木曾 崇

㈱エンタテインメントビジネス総合研究所 ゲームングビジネス事業部長／主任研究員

早稲田大学アミューズメント総合研究所 カジノ産業研究会 研究員

ネバダ大学ラスベガス校ホテル経営学部を主席卒業（カジノ経営学専攻）。米国ラスベガス Four Queens Hotel & Casinos でのカジノ事業部長付き経営研修生を経て、カジノ事業者大手 Caesars Entertainment 社（現 Harrah's Entertainment 社）に入社。同社会計監査部にて監査人業務を勤めた後、帰国。2004年、㈱エンタテインメントビジネス総合研究所に入社。主任研究員としてカジノの専門調査チームを立ち上げ、現在では国内外の各種カジノ関連プロジェクトに携わる。2005年より早稲田大学アミューズメント総合研究所カジノ産業研究会研究員として一部出向、同研究所で国内カジノ市場の予測プログラム「W-K シミュレータ」を共同開発。

エンタテインメントビジネス総合研究所は、日本で最も早くからカジノ研究に取り組むエンタテインメント業界の専門シンクタンクです。1993年、弊社はそのグループ基金によりネバダ大学内に「国際ゲーミング研究所（IGI）」の設立を支援、世界でも珍しいカジノ専門の研究所として業界内外より大きな評価を頂いています。国際ゲーミング研究所では、世界で初めてとなるカジノ経営学を含むホスピタリティ経営に関する博士号取得講座を運営。弊社と共同でカジノ、ゲーミング業界に直面する様々な問題と状況に焦点をあてその解決法を探るほか、ゲーミング産業のソフト、ハード両面における研究支援を行っています。また、現在ではカジノに関する基礎調査、実地調査など各種クライアント様からのご要望に応じた、個別の調査研究も承っております。

各種お問合せは下記連絡先まで。

〒110-0015 東京都台東区東上野 3-24-3

Tel: 03-5688-4751

Fax: 03-5688-5353

E-mail: kiso@eb-i.jp